信濃教育会報

第1088号

令和４年３月15日発行

URL https://shinkyo.or.jp
shinkyo@shinkyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会
長野市旭町 1098
☎026(232)2470
編集兼発行人／武田 育夫

大相撲「源池場所」
ずっと続いている大相撲「源池場所」。コロナ禍で，全校が土俵周りに一緒に集まれませんでしたが，４年生が毎日水を撒いて土を固めた土俵の上では，正々堂々と押し相撲で戦う熱戦が繰り広げられました。早く一堂に会して開催できることを願っています。
（源池小学校）

第４回臨時総会報告… 2～3　　令和４年度代議員選挙公示… 4　　令和４年度収支予算書… 5～7
（発表）教職員川柳優秀作品… 8　　「長野県学事関係職員録」にかかわるお願い… 9
リレー通信　わたし自慢㉛　あの日の言葉を胸に　藤巻周平（小井川小学校）… 9
100年館の絵　小山美香子（駒ヶ根市立東中学校）… 10
会員ひろば　小橋桂蔵（戸倉上山田中学校）… 10

雑誌「信濃教育」　購読のおすすめ

137年の歴史を持つ日本一長寿の月刊学術図書「ブレない教育精神と自信と自負を持って行っている実践」に学ぶ場，「教育に情熱を燃やす仲間の，熱き思い」に出会う場としてぜひご活用ください。

●編集の特色●

❶ 新企画　長野県に縁のある執筆者（郡市教育会推薦）による『リレーエッセー』No.1

（敬称略）

5月号 遠藤　守信	信州大学特別栄誉教授(上高井教育会)	9月号 菅谷　昭	松本大学学長・前松本市長(松本市教育会)
6月号 小林　正佳	元長野県教育委員会教育次長(下伊那教育会)	12月号 比田井和孝	上田情報ビジネス専門学校副校長(佐久教育会)
7月号 小松ゆかり	ベネッセこども基金事務局長(諏訪教育会)	1月号 石本　愛子	伝統工芸士（漆器工）(東筑摩塩尻教育会)
8月号 月影　瞳	元宝塚歌劇団・娘役トップスター、上田市観光大使(小県上田教育会)	3月号 宮本　昌志	協和キリン株式会社代表取締役社長(飯水教育会)

❷ 特集「我が教育会の取組」No.3
❸「子ども達が教えてくれたこと」「私の『学級づくり』」「私の『授業』」
❹ 生徒指導の充実に向けて　～不登校を考える～
❺ 特集「令和の日本型学校教育」を考える　～ With コロナでの実践から見えてきたこと～

購読のお申込みは総務部　TEL026-232-2470へ

第４回臨時総会報告

「改革」と「革新」で信濃教育会の原点に返る

～ 一人一人の先生が，信州教育や学校を創る主体者であるために ～

令和３年度第４回臨時総会が，２月５日（土）に，新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンライン開催された。全代議員数50名のうち43名の出席のもと，４つの議案が上程され全て承認された。情報交換では，次年度に向けた信濃教育会会員増について活発な意見交換がなされた。

【武田会長開会のあいさつ】

○本日は，オンラインでの臨時総会となるが，皆様にはお忙しい中ご参加いただき，また日頃より信濃教育会を支えていただいていることに感謝申し上げる。

○本年度，信濃教育会は新たな取組をいくつか始めた。改革とか革新とか言われるが，それは信濃教育会の原点に返る取組であり，後藤前会長が常々おっしゃっていた「人から人へ」を具現化する取組でもある。信濃教育会は，長野県の教員が自らを高めるために集った団体である。校長とか教頭とか常勤とか非常勤とかではなく，子どもの前に立つ仲間として，互いに切磋琢磨し合い，助け合いながら，長野県の教育を高めようとする団体である。その原点に戻ろうというものである。

○いくつかの取組の中で，私が長野県の教育現場のエネルギーを実感したことの一つは，信濃教育会全県研究大会の授業者や会場校の募集である。今までのブロックや郡市持ち回り，また教科指定を一切やめ，立候補による授業者・会場校を決めようという方法に切り替えた。最終的に合計15の授業者・学校が立候補してくれた。自ら授業を公開し，参会者の意見を謙虚に聞きながら高めていこうという先生方や校長先生の思いを感じ，長野県の学校現場の確かさを強く感じた。このことは，本年度から開始した研究調査委員の公募や極意伝承道場や教師塾Ａ・Ｂへ，主体的・自立的に参加してくれた多くの先生方の姿からも感じたことである。

○「働き方改革」が叫ばれ，教員を目指す若者が減少している状況が危惧され，「令和の日本型学校教育」と学校が変革を求められ，学校現場には様々な波が押し寄せているが，不易なことは「教育は人である」ということである。先生たちがやりがいを持って生き生きと生活することなくして，子どもたちが健やかに育つはずがない。長野県には，教員が自ら求めて学ぶ場である信濃教育会や郡市教育会がある。研修を与えることではなく，自らを高めようと，自主的・主体的に学ぶことが先生たちを元気にする上で最も重要なことである。

○信濃教育会はこれからも郡市教育会や校長会などと連携し，先生方が自ら学ぶことができる環境づくりを進め，子どもたちとの生活を先生方が楽しめるような教育文化をつくって参りたい。

○本日は，限られた時間の中ではあるが，審議・協議よろしくお願いしたい。

【議　事】

第１号議案「令和４年度公益社団法人信濃教育会事業計画（案）の承認」に関する件

第２号議案「令和４年度公益社団法人信濃教育会収支予算（案）の承認」に関する件

第３号議案「令和４年度公益社団法人信濃教育会資金調達及び設備投資の見込み（案）の承認」に関する件

第４号議案「保有債券償還に伴う新規債券購入の承認」に関する件

【協　議】

⑴　令和４年度講習・講座の基本的な方向と計画概要について

⑵　第136回信濃教育会総集会上高井大会の計画について

【報告・連絡】

⑴　会報３月号掲載の令和４年度代議員選挙公示について

⑵　令和４年度「短期視察研修補助事業」「自主的校内

研修補助事業」について
⑶　令和４年度全県研究大会について
⑷　令和４年度学事関係職員録の刊行について
⑸　令和４年度信濃教育会年間行事予定について
⑹　事業概要「リーフレット」，会員募集「ポスター」について
⑺　「信濃教育会報」原稿執筆校推薦の依頼について
⑻　退職会員への感謝状贈呈並びに再入会のお勧めについて

【情報交換】

テーマ「年度末から年度初めの信濃教育会会員増の取組について」

・個別に話をしていなかったと反省している。先生方は研修をすることが嫌いではなく，研修を支える仕組みが信教にあるということを知っていないのではと感じる。
・４月初めの丁寧な入会勧誘が大事である。
・学校によって講師は教育会に入らなくていいという暗黙の了解の雰囲気がある。払拭していかなければいけない。同じ働く仲間として，共に切磋琢磨し高めていくことを，校長会でも確認し，教頭や教務主任の先生たちとも共有していきたい。
・校長の意識を高めて，わかりやすく説明できる資料を用意し，直接個人に勧めることが大事である。名簿をまわす方法は止め，取組の仕方のチラシを作成して案内している。
・産育休の先生方が入会しない傾向があるので，校長会の際に説明をし，直接の声がけにより入会していただいた。来年度，再任用の先生方の会費の値下げを検討し会員増を図る予定。
・入会されない先生方の理由がはっきりしていない。教師塾Ａに参加した先生に職員会で感想を話してもらった。また，今年度本校から教育研究論文・教育実践賞に３つのレポートを提出してもらった。これらは教育会を知る良い機会だと考えている。
・校長からチラシを配ったり声がけをしたりするとプレッシャーになるケースもある。年齢の近い同僚からアプローチをする方法も良い。
・講習・講座等の参加を勧め，本人に教育会の良さを実感してもらうことが大事。慌てて入会を強く勧めず，長い目で丁寧な入会の働きかけも有効ではないか。
・我々の教育会を運営していく立場としての姿勢を示していきたい。
・郡市教育会で「事業推進委員会」を組織しており，20代の先生方が中心になって入会勧誘の仕方や方法を考えている。今年度は入会勧誘のチラシやクリアファイルを作成し周知した。
・一人一人の状況に寄り添って声がけをしていくことが大切である。
・若い先生方が同好会の良さを実感し，新しく赴任してきた先生方に声がけをしている。勧誘できる環境を作っていくことが大事である。
・校長が教育会の良さを校長会の中で話し合い，理解を共有していくことが大切である。

【武田会長閉会のあいさつ】

○皆様の審議・協議，情報交換に感謝。来年度の事業計画や予算について承認いただき，感謝申し上げる。令和４年度についても，信濃教育会がより発展するように努めて参りたい。
○普段より思っていることだが，一度しかない人生において，教職という道を選び，また長野県の教員になるという道を選ばれた私たちの仲間が，県内に１万数千人程おられるが，そういう方々が「長野県で先生になって本当に良かった」と思っていただけるためには，やはり先生方が自由でなければならない。自由であるということは，自分の授業や学級づくり，あるいは子どもとの関係について自分で勉強をし，これが正しいという方法で教育をしていくこと。自主的・自律的に先生たちが学ぶためには，指定研修や悉皆研修は自主的・主体的であるはずがない。
○先輩は，自分たちが自主的・主体的であるため，自由であるために，自ら教育会という組織を作り，その教育会のもとでお互いに助け合いながら行ってきた。これらが今につながっている。
○長野県の教員は日本の中で一番自由なのではないかと感じる。一人一人の先生の，信州教育や学校を作っている主体者であるという意識が，時代とともに失われてきている。このままで本当にいいのかと，私たちが伝えていくべきなのではないか。
○皆様には令和３年度代議員として信濃教育会を支えていただき，感謝申し上げる。コロナ禍，自身の学校のみならず各郡市の教育活動の中心となられた一年だと推察する。
　ご協議ご審議，感謝申し上げる。

公益社団法人 信濃教育会

令和４年度　代議員（含補欠員）選挙公示

令和４年３月15日

公益社団法人 信濃教育会　代議員選挙管理委員会

定款に則り，令和４年度の代議員選挙を下記のように実施いたします。

記

１　本会の正会員であればどなたでも立候補できます。４月１日までに各教育会選出の信濃教育会代議員選挙管理委員会委員（信濃教育会常任委員）までお申し出ください。

　令和４年度信濃教育会常任委員が選出されるまでは令和３年度の常任委員が信濃教育会代議員選挙管理委員会委員の責務と権限を有していますが，４月１日以降，申し出先が不明確な場合は各教育会事務局へお申し出ください。

２　候補者の受付と公示，投票及び開票の管理・運営は，各教育会の信濃教育会代議員選挙管理委員会委員（信濃教育会常任委員）が行います。

３　選挙結果は会報５月号に掲載します。

以上

令和４年度

公益社団法人 信濃教育会 収支予算書

令和４年１月24日 理事会提案　令和４年１月24日　決議
令和４年２月５日 臨時総会提案　令和４年２月５日　承認

公益目的事業収支予算書

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度予算額	前年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	356	355	1
(2) 受取会費	151,319,000	152,205,900	△886,900
(3) 事業収益	38,672,500	38,875,500	△203,000
1 購読収益	13,890,000	13,893,000	△3,000
2 受取印税	24,400,000	24,400,000	0
3 講座受講料	332,500	532,500	△200,000
4 会館使用料	50,000	50,000	0
(4) 受取負担金	0	0	0
(5) 受取寄付金	0	0	0
(6) 雑収益	408,550	408,099	451
経常収益合計 (A)	190,400,406	191,489,854	△1,089,448
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	182,707,084	186,630,454	△3,923,370
(1) 職能研修事業費	38,738,000	40,927,000	△2,189,000
1 研究調査費	3,830,000	5,681,000	△1,851,000
1 委員会費	2,150,000	3,589,000	△1,439,000
2 旅費交通費	120,000	120,000	0
3 通信運搬費	200,000	420,000	△220,000
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	160,000	160,000	0
6 印刷製本費	800,000	1,040,000	△240,000
7 諸謝金	350,000	302,000	48,000
8 雑費	50,000	50,000	0
2 福祉教育資料研究調査費	264,000	264,000	0
1 委員会費	190,000	190,000	0
2 旅費交通費	24,000	24,000	0
3 通信運搬費	5,000	5,000	0
4 支払助成金	40,000	40,000	0
5 支払寄付金	0	0	0
6 雑費	5,000	5,000	0
3 教育研究所運営費	4,965,000	5,273,000	△308,000
1 委員会費	230,000	320,000	△90,000
2 旅費交通費	2,558,000	2,848,000	△290,000
3 通信運搬費	170,000	170,000	0
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	286,000	286,000	0
6 印刷製本費	500,000	500,000	0
7 諸謝金	992,000	920,000	72,000
8 支払負担金	40,000	40,000	0
9 雑費	189,000	189,000	0
4 講習講演会費	5,799,000	6,314,000	△515,000
1 旅費交通費	2,440,000	2,680,000	△240,000
2 通信運搬費	172,000	192,000	△20,000
3 消耗品費	355,000	410,000	△55,000
4 印刷製本費	40,000	70,000	△30,000
5 賃借料	260,000	200,000	60,000
6 諸謝金	1,440,000	1,280,000	160,000
7 支払助成金	770,000	1,020,000	△250,000
8 雑費	322,000	462,000	△140,000
5 教育研究大会費	9,970,000	9,140,000	830,000
1 旅費交通費	2,740,000	3,260,000	△520,000
2 通信運搬費	205,000	105,000	100,000
3 消耗品費	130,000	100,000	30,000
4 印刷製本費	160,000	100,000	60,000
5 賃借料	300,000	200,000	100,000
6 諸謝金	2,600,000	1,590,000	1,010,000
7 支払負担金	100,000	100,000	0
8 支払助成金	3,315,000	3,215,000	100,000
9 委託費	300,000	300,000	0
10 雑費	120,000	170,000	△50,000
6 視察派遣助成費	5,730,000	6,075,000	△345,000
1 委員会費	570,000	570,000	0
2 旅費交通費	300,000	500,000	△200,000
3 通信運搬費	60,000	60,000	0
4 支払負担金	380,000	380,000	0
5 支払助成金	4,365,000	4,510,000	△145,000
6 雑費	55,000	55,000	0
7 教育会研修助成費	1,000,000	1,000,000	0
1 支払助成金	1,000,000	1,000,000	0
8 応募型研修助成費	7,180,000	7,180,000	0
1 旅費交通費	15,000	15,000	0
2 通信運搬費	30,000	30,000	0
3 消耗品費	80,000	80,000	0
4 印刷製本費	30,000	30,000	0
5 諸謝金	25,000	25,000	0
6 支払助成金	7,000,000	7,000,000	0
(2) 教育図書研究調査事業費	29,131,000	29,063,000	68,000
1 教科用図書研究委員会費	9,818,000	9,345,000	473,000
1 委員会費	7,095,000	6,941,000	154,000
2 旅費交通費	715,000	605,000	110,000
3 通信運搬費	230,000	255,000	△25,000
4 消耗什器備品費	200,000	200,000	0
5 消耗品費	1,164,000	1,132,000	32,000
6 諸謝金	240,000	80,000	160,000
7 雑費	174,000	132,000	42,000
2 学術図書研究委員会費	19,313,000	19,718,000	△405,000
1 委員会費	275,000	340,000	△65,000
2 旅費交通費	100,000	100,000	0
3 通信運搬費	2,500,000	2,500,000	0
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	80,000	80,000	0
6 印刷製本費	13,285,000	13,315,000	△30,000
7 諸謝金	1,570,000	1,895,000	△325,000
8 期首商品棚卸高	14,200,000	14,300,000	△100,000
9 期末商品棚卸高	△14,300,000	△14,500,000	200,000

10 雑費	1,603,000	1,688,000	△85,000
(3) 生涯学習振興事業費	3,799,000	3,892,000	△93,000
1 教育博物館運営費	1,499,000	1,623,000	△124,000
1 委員会費	366,000	427,000	△61,000
2 旅費交通費	117,000	50,000	67,000
3 通信運搬費	131,000	136,000	△5,000
4 消耗品費	170,000	170,000	0
5 印刷製本費	335,000	460,000	△125,000
6 諸謝金	50,000	50,000	0
7 支払助成金	300,000	300,000	0
8 雑費	30,000	30,000	0
2 生涯学習推進支援事業費	2,300,000	2,269,000	31,000
1 委員会費	40,000	70,000	△30,000
2 旅費交通費	120,000	120,000	0
3 通信運搬費	150,000	150,000	0
4 消耗什器備品費	150,000	50,000	100,000
5 消耗品費	220,000	250,000	△30,000
6 修繕費	150,000	150,000	0
7 印刷製本費	0	0	0
8 光熱水料費	470,000	470,000	0
9 保険料	180,000	189,000	△9,000
10 諸謝金	100,000	100,000	0
11 委託費	570,000	570,000	0
12 雑費	150,000	150,000	0
(4) 事業共通費	111,039,084	112,748,454	△1,709,370
1 役員報酬	3,621,700	4,529,560	△907,860
2 給料手当	61,138,100	61,202,540	△64,440
3 退職給付費用	2,788,800	2,419,209	369,591
4 福利厚生費	9,893,600	9,896,279	△2,679
5 会議費	664,000	800,400	△136,400
6 委員会費	136,800	133,760	3,040
7 旅費交通費	697,200	700,350	△3,150
8 渉外応接費	398,400	400,200	△1,800
9 通信運搬費	987,000	991,500	△4,500
10 減価償却費	7,967,599	8,927,853	△960,254
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	1,710,800	1,718,600	△7,800
13 修繕費	197,400	198,300	△900
14 印刷製本費	531,200	533,600	△2,400
15 光熱水料諸費	11,712,400	11,765,800	△53,400
16 賃借料	2,988,000	3,001,500	△13,500
17 保険料	244,485	217,383	27,102
18 租税公課	2,772,000	2,710,320	61,680
19 支払負担金	2,124,800	2,134,400	△9,600
20 雑費	464,800	466,900	△2,100
【管理費】	42,793,397	42,832,931	△39,534
1 会議費	1,625,000	1,945,200	△320,200
1 総会費	1,320,000	1,600,000	△280,000
2 理事会費	50,000	50,000	0
3 監事会費	30,000	30,000	0
4 共通会議費	225,000	265,200	△40,200
2 会報発行費	3,753,000	3,758,000	△5,000
1 委員会費	42,000	57,000	△15,000
2 旅費交通費	60,000	50,000	10,000
3 通信運搬費	800,000	800,000	0
4 消耗品費	16,000	16,000	0
5 印刷製本費	2,800,000	2,800,000	0
6 諸謝金	30,000	30,000	0
7 雑費	5,000	5,000	0
3 事務費	37,415,397	37,129,731	285,666
1 役員報酬	5,376,800	5,817,360	△440,560
2 給料手当	16,556,380	15,942,620	613,760
3 退職給付費用	945,000	801,567	143,433
4 福利厚生費	3,352,500	3,278,977	73,523
5 旅費交通費	286,250	282,050	4,200
6 渉外応接費	735,000	732,600	2,400
7 通信運搬費	362,000	356,000	6,000
8 減価償却費	1,449,407	1,693,013	△243,606
9 消耗什器備品費	0	0	0
10 消耗品費	692,800	682,400	10,400
11 修繕費	118,400	117,200	1,200
12 印刷製本費	480,000	476,800	3,200
13 光熱水料諸費	4,058,400	3,987,200	71,200
14 賃借料	1,012,500	994,500	18,000
15 保険料	62,460	55,544	6,916
16 支払負担金	770,000	757,200	12,800
17 委託費	500,000	500,000	0
18 雑費	657,500	654,700	2,800
経常費用合計 (B)	225,500,481	229,463,385	△3,962,904
当期経常増減額 (A)－(B)	△35,100,075	△37,973,531	2,873,456
他会計振替額	4,841,812		
他会計振替額	17,100,000		
当期一般正味財産増減額	△13,158,263		
一般正味財産期首残高	297,485,058		
一般正味財産期末残高	284,326,795		
Ⅱ 正味財産期末残高	284,326,795		

出版事業収支予算書

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度予算額	前年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	11	14	△3
(2) 事業収益	14,700,000	14,940,000	△240,000
1 購読収益	12,000,000	12,240,000	△240,000
2 受取印税	2,700,000	2,700,000	0
(3) 雑収益	2,450	4,900	△2,450
経常収益合計 (A)	14,702,461	14,944,914	△242,453
2 経常費用の部			
1 役員報酬	390,180	472,600	△82,420
2 給料手当	2,220,480	2,950,060	△729,580
3 退職給付費用	113,400	126,945	△13,545
4 福利厚生費	402,300	519,295	△116,995
5 会議費	27,000	42,000	△15,000
6 委員会費	303,200	306,240	△3,040
7 旅費交通費	28,350	36,750	△8,400
8 渉外応接費	16,200	21,000	△4,800

9 通信運搬費	740,500	754,000	△13,500
10 減価償却費	312,945	341,503	△28,558
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	80,200	103,600	△23,400
13 修繕費	8,100	10,800	△2,700
14 印刷製本費	5,571,600	5,578,000	△6,400
15 光熱水料諸費	480,600	640,800	△160,200
16 賃借料	211,500	327,500	△116,000
17 保険料	7,470	6,793	677
18 諸謝金	0	0	0
19 租税公課	916,650	1,000,040	△83,390
20 支払負担金	86,400	112,000	△25,600
21 委託費	1,600,000	1,200,000	400,000
22 雑費	298,900	304,500	△5,600
経常費用合計 (B)	13,815,975	14,854,426	△1,038,451
当期経常増減額 (A)－(B)	886,486	90,488	795,998
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	886,486		
法人税・住民税及び事業税	33,060		
当期一般正味財産増減額	853,426		
一般正味財産期首残高	37,965,016		
一般正味財産期末残高	38,818,442		
Ⅱ 正味財産期末残高	38,818,442		

不動産貸与事業収支予算書

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度予算額	前年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	1,313	4,011	△2,698
(2) 事業収益	13,870,600	14,314,600	△444,000
1 貸家賃貸料	9,526,600	9,970,600	△444,000
2 貸地賃貸料	4,344,000	4,344,000	0
(3) 受取負担金	3,000,000	3,000,000	0
(4) 雑収益	500	1,000	△500
経常収益合計 (A)	16,872,413	17,319,611	△446,698
2 経常費用の部			
1 役員報酬	390,180	472,600	△82,420
2 給料手当	2,949,380	2,297,060	652,320
3 退職給付費用	142,800	101,556	41,244
4 福利厚生費	506,600	415,436	91,164
5 会議費	34,000	33,600	400
6 旅費交通費	35,700	29,400	6,300
7 渉外応接費	20,400	16,800	3,600
8 通信運搬費	52,500	43,500	9,000
9 減価償却費	4,128,444	4,594,419	△465,975
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	91,000	75,400	15,600
12 修繕費	110,500	108,700	1,800
13 印刷製本費	27,200	22,400	4,800
14 光熱水料諸費	3,673,000	3,566,200	106,800
15 賃借料	553,000	626,000	△73,000
16 保険料	159,380	145,290	14,090
17 租税公課	2,011,350	2,089,640	△78,290
18 支払負担金	108,800	89,600	19,200
19 雑費	103,800	99,600	4,200
経常費用合計 (B)	15,098,034	14,827,201	270,833
当期経常増減額 (A)－(B)	1,774,379	2,492,410	△718,031
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	1,774,379		
法人税・住民税及び事業税	37,940		
当期一般正味財産増減額	1,736,439		
一般正味財産期首残高	177,812,085		
一般正味財産期末残高	179,548,524		
Ⅱ 正味財産期末残高	179,548,524		

災害見舞金事業収支予算書

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

（単位＝円）

科　　目	本年度予算額	前年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	33,990,020	26,770,020	7,220,000
(2) 受取会費	3,000,000	3,000,000	0
経常収益合計 (A)	36,990,020	29,770,020	7,220,000
2 経常費用の部			
1 役員報酬	1,086,540	1,254,680	△168,140
2 給料手当	3,838,260	3,598,920	239,340
3 退職給付費用	210,000	177,723	32,277
4 福利厚生費	745,000	727,013	17,987
5 会議費	250,000	358,800	△108,800
6 旅費交通費	52,500	51,450	1,050
7 渉外応接費	30,000	29,400	600
8 通信運搬費	93,000	90,000	3,000
9 減価償却費	241,715	284,553	△42,838
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	135,200	130,000	5,200
12 修繕費	15,600	15,000	600
13 印刷製本費	40,000	39,200	800
14 光熱水料諸費	925,600	890,000	35,600
15 賃借料	225,000	220,500	4,500
16 保険料	11,205	9,990	1,215
17 支払負担金	160,000	156,800	3,200
18 支払見舞金	15,000,000	15,000,000	0
1 死亡・障害見舞金	9,000,000	9,000,000	0
2 入院・通院見舞金	3,000,000	3,000,000	0
3 自然災害見舞金	3,000,000	3,000,000	0
19 雑費	40,000	39,300	700
経常費用合計 (B)	23,099,620	23,073,329	26,291
当期経常増減額 (A)－(B)	13,890,400	6,696,691	7,193,709
他会計振替額	△4,841,812		
他会計振替額	△17,100,000		
当期一般正味財産増減額	△8,051,412		
一般正味財産期首残高	1,258,875,382		
一般正味財産期末残高	1,250,823,970		
Ⅱ 正味財産期末残高	1,250,823,970		

発表!! 教職員川柳 優秀作品

頼もしや　のびしろしかない　子どもたち
（青クリリン）

オンライン　何でも学べる　オレイラン
（Ⅲ世）

「出ておいで」　隙間のごみに　話す子らよ
（鯖の味噌煮）

「要配慮」　聞くたび悩む　「どう配慮？」
（四蔵法師）

白文帳　無言清掃　ヘチマの絵
（縄文人）

「お母さん！」　いやいや私は　男です
（多毛生地）

オンライン　給食だけは　食べたいな
（だるま）

職員室　今日もにぎわう　夜八時
（藤原定時）

よく寝たか？　仏心で　笑いかけ
（みどりパパ）

「ボタンどこ!?」　子どもに教わる　タブレット
（雷鳥）

令和３年４月～令和４年１月14日までにご応募いただいた99点の作品を会報編集委員会で審査し，10点の優秀作品を選出しました。たくさんのご応募ありがとうございました。選出された作者の方には1000円分の QUO カードをお贈りいたします。

※審査日程上，１月14日までの投稿を審査対象とさせていただきました。これ以降にいただいた作品につきましては来年度の掲載・審査対象となります。

一挙にご紹介 その3

教え甲斐　好きが高じて　教師道
（青クリリン）

世の中よ　部活がそんなに　悪いのか
伸び伸びと　過ごす親無き　文化祭
言ってみたい「わたし、定時で　帰ります」
（四蔵法師）

オンライン　給食だけは　食べたいな
清掃で　古い校舎も　輝くよ
タブレット　ビタミンCより　元気出る
怖いのは　先生よりも　感染症
生徒より　親が喜ぶ　10万円
全集中　黒板よりも　タブレット
新硬貨　伝統あるのは　我が校歌
（だるま）

あと5分　朝よりつらい　授業中
よく寝たか？　仏心で　笑いかけ
（みどりパパ）

マスク　つまんでは上げ　つまんでは上げ
（六甲おろし）

『教職員川柳』は来年度も引き続き作品を募集します。メールまたは FAX にてご応募ください。
専用の応募用紙はこちらからダウンロードできます。

「長野県学事関係職員録」にかかわるお願い

令和４年度の原稿入力・職員録購入の申込みにかかわる日程は下記のとおりです。ご確認いただき，作業を進めていただきますようお願いいたします。

原稿入力

３月８日［火］	原稿入力にかかわる文書，申込書を各学校へ送付
３月末	ID・パスワードを郵送にて各学校へ送付（4/1 必着）
4月 1日［金］	１次入力開始
4月11日［月］	午前９時　１次入力締め切り・１次完了報告締め切り
4月19日［火］	２次入力開始　（修正入力が可能になります。） ●修正の有無にかかわらず，必ず２次完了報告を行ってください。
4月21日［木］	昼12時　２次入力締め切り・２次完了報告締め切り

購入申込み締め切り

4月15日［金］

小・中・特別支援・義務教育学校 → 郡市教育会へ

高校・大学・各種学校，他 → 信濃教育会へ

問い合わせ

［原稿入力について］　雑誌図書編集部　電話 026-232-6994

［購入申込みについて］　総務部　電話 026-232-2470

リレー通信

わたし自慢㉛

あの日の言葉を胸に

小井川小学校　藤巻　周平

中学２年の夏休み、私は小脳の病気で倒れた。ICU（集中治療室）に入り、何度も生死をさまよった。当時の経験は今もなお私の人生を支え、私の教育観を語る上では欠かせない。

日常というのは案外あっさり崩れ去ってしまう。まさか自分が救急車で緊急搬送され、幾度の手術を経て長期入院することになるとは、中学２年の私には思いもよらないことだった。原因は先天性の腫瘍。「なんでぼくが」とやるせない気持ちだった。

入院して１ヶ月くらい経ったある日、クラスから寄せ書きが届いた。「学校で待っているよ」というメッセージに思わず涙があふれた。「早く学校に行きたい」と心の底から思った。「学校に行きたいけど行けない」というのは、こんなにも辛く切ないものなのだと思った。

退院後も学校に行けない日は続く。病気の後遺症で、歩行や運動の機能は著しく低下した。しばらくは１・２時間学校に行き、リハビリのため病院に行く毎日だった。ようやく１日学校で過ごせるようになるころには、私は中学３年生になっていた。

卒業式の日、当時の担任の先生に「おまえは誰よりも『学校に行きたくても行けない』気持ちがわかる人だし、だれよりも人の温かさを知っている人だ」と言われた。私が教師になることを誓った瞬間だった。今の私は、その言葉通りの人になれているだろうか。あの日、私に光を照らしてくれた先生に胸を張って生きていける人間であり続けたい。

信濃教育 予告

100年館の絵

令和２年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵

「なりたい、こんな私に」
春日　信成（駒ヶ根市立東中三年）

指導者
小山美香子
（駒ヶ根市立東中学校）

例年、中学三年生の春から自画像を入れた構成画の制作をしています。今年度のタイトルは「なりたい、こんな私に」今の自分を見つめ、未来はこうなれたらいいなという願いをそれぞれが持って描きます。

信成さんは、この作品に三つの未来への願いを込めて描きました。一つは、自分の手で未来を作っていくという意味を込めた、建設中のビルや未来を描く自分の手。もう一つは、新型コロナウイルスが収束した未来を見ているという意味が込められた、メガネの奥に見える風景やマスクを外す手の描写。最後は、背景を白色に塗っているというところ。ここには、まだ未来は何色にも染まっていなくて誰のものでもないから、これからの未来を僕たちで彩っていこう、自分の手で未来を掴もうという願いが込められています。

コロナ禍にあって、今まで通りが通用しなくなった現代にあって、若者はたくましく未来に向かって生きていこうとする姿がこの作品からは感じられます。

信濃教育博物館所蔵

会員ひろば

“鋼のメンタル”

～1年2組～

始まるまではドキドキでステージのみんなを見ていた。初めてのつばさ祭，全校の前でのダンス，緊張で振り付けを忘れてしまわないかな？笑顔で踊れるかな？そんな心配があったが…「１年２組，絶対１位をとって小橋先生に焼き肉おごってもらうぞ～」「お～!!」

心配は全く必要なかった。緊張した様子を見せずに練習してきたことを体全体で表現していた。頼もしい姿を見せてくれたので４月からの成長を非常に感じた。しかし，ここまでの道のりは決して平坦な道ではなかった。ダンスリーダーたちと他の人たちのズレがあり何度もぶつかり合っていたことを知っている。でもそれを乗り越えてみんなで協力し素晴らしいダンスを作りあげてくれた。見事結果は学年１位。焼き肉か？？と思ったが，このコロナ禍でさすがにできないと思い「焼き肉さん太郎」をプレゼントした。大人になり，また頼もしい姿を見せてくれるときにみんなで思い出を語り合いながら焼き肉でも食べよう。

（戸倉上山田中学校　小橋桂蔵）

教職員川柳

今月号は８ページにて
優秀10作品の発表と
作品その３を一挙にご紹介!!
ぜひご覧ください。

ご応募お待ちしています。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyo.or.jp
「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。